

リレーメッセージ



「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」では町のみなさんのいろいろな声を特集してゆきます。「九条へのおもい」「平和への願い」「現状への不平・不満」などなど、みんなに聞いてもらいたいことを、どうか事務局までお届けください(匿名でも結構です)。今回、三人の方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

「死神の再生は許さない」

輪湖 昇 (角山)

私が小学校1年生のときに、戦争が終わり、先生の指示で使っていた教科書の多くの部分を墨で塗りつぶす作業を体験した。過去の過ちを否定することからスタートした戦後教育を象徴する出来事として印象深い思い出である。今「教育・憲法の再生」などと言って、教育への政府コントロールの強化や、憲法をかえて戦争する国にしようとする動きがあるが、私の目には「戦前の死神の再生」に見える。一度墨で塗りつぶした死神の再生は絶対に許すことが出来ない。

「私は主権者です」

天田英男 (大塚)

憲法は国民が政府に向かって発する命令です。法律は国民に対して発する命令です。じゃあ憲法と法律どっちがエラかという、当然憲法の方がエライ。これまでの政府はずっと「国民の命令」である憲法をまったく無視してやってきた。「国民の命令」である憲法を大事にしながらやってくれる政府にするには、長い道のり、いばらの道が続くと思います。

「九条の会」が全国に広がって、各地の集会にたくさんの方が参加していますが、一般のマスコミはほとんど報道していませんよね。“憲法九条を守れ”という点で「九条の会だより」の役割は決定的だと思います。この「たより」を届ける配達活動と、メリハリのある紙面を作る活動は車の両輪だと思います。

私は主権者です。主権者の責任で日本国憲法守っていきます。

「南北 코리아 と九条」

菊地恵子 (小川)

久々の高校時代の同窓会、親友が「そのうちテポドンが飛んできて、日本の将来は大変かも」と発言。実は私も、不安がないわけではなかった。それで、左翼の軍事評論家(?) なる人の話を聴いた。

北朝鮮と日韓の軍事力の詳細な比較をされ、戦争になったらごく短期間で北は負ける、そんなことはプロの軍事評論家は誰でも知っているが、「北の脅威」をおおることで日本の軍

備強化をしているので、真実を言うのはタブーとのことだった。

北朝鮮に石油はないので、米国はイラクほど熱心ではないが、やはり戦争で儲けたい輩に支配されている国だ。朝鮮半島が近く統一されることを切に願うが、それを軍事でさせたいはいけない。日本の再軍備はアジア諸国への経済進出の後方支援のため、とも言われるが、とにかく戦争をしない、させないために、今こそ正念場なのだと感じている。

第1回 学習講演会

ごあんない

「教育基本法 今こそ生かして」

日時 9月30日(土)午後2時から

会場 小川町中央公民館3階会議室

講師 鈴木敏則 (日本高等学校教職員組合

中央執行委員・小川高校定時制教諭)

『教育基本法』てなーに」「子どもたちの状況が今とっても不安」「教育基本法」と『憲法』はどうしていつもセットで語られるのか」・・・いろいろな疑問に現場教師で教職員組合の第一線で活躍する鈴木先生が丁寧に答えてくれます。

今後、「第2回」「第3回」を下記のとおり計画しています。

お誘いあわせの上お出かけください

第2回 「アメリカの世界戦略と日本の憲法」

10月28日(土)午後2時 中央公民館

講師 山田 朗 (明治大学教授)

第3回 「『憲法改正手続き法は必要か』

11月22日(水)午後6時半 リックおがわ

講師 福田 徹 (弁護士)



報告 一周年記念のつどい

「おがわ町九条の会」は、8月19日(土)図書館視聴覚室で1周年記念のつどいを開きました。60名余の参加をいただき、第一部総会では、一年間の総括、会計・監査報告、役員が承認され、あわせて向こう一年間の活動方針が審議・承認されました。第二部では「小中陽太郎」氏に記念講演をいただきました。総会決定事項の概要のご報告と、講演会の感想(代表の一人、長尾邦弘さんによる)を掲載いたします。

次年度活動方針

《情勢》

- 05年10月、憲法改憲案が出され、その中心点が「九条」改憲にあることがハッキリしてきました。政府与党からは、米軍再配置・教育基本法・国民投票法など改憲の中味に沿った、改憲準備の方針・法案が秋の重要案件になってきています。
- 改憲案については、いくつかの党の「案」が出されようとしています。共通点は「九条」改憲にあります。
- 「九条の会」が燎原の火のように全国各地で作られています。

《活動の基本》

- ①『憲法九条を守る』一点で統一することの明確化。
- ②「九条改憲ノー」で「個人」を確立し、国民投票があっても、有権者の過半数を取ること。
- ③ 勉強しながら賛同者を増やすこと。

《具体化》

- 1 小川町全体の大きな集り(情勢を聞く会・文化行事など)を開催します。
- 2 学校区単位の小集会(ビデオを見る・講師の話を聴く・みんなで語り合うなど)を開くよう努めます。
- 3 ニュースはこれまでのように発行し、配布は出来るだけ手配りいたします。会員の協力による全戸配布に努めます。
- 4 「9の日」行動を行います。街を決めてその街の会員の参加も得て戸別訪問も計画します。
- 5 このような行動の中で、早期に1,000人の会員目標を達成します。

次年度役員

(50音順)

天田 英男 新井喜代美 遠藤真知子 大日方安郎 笠原 武 菊地 恵子 君島小夜子
 黒澤 泰彦 黒澤 幸江 桜井 薫 東海林阿佐子 富田 和朗 豊嶋 久子 長尾 邦弘
 永島善太郎 西田 一雄 松本 栄二 藤村 吉則 柳田 智 輪湖 昇 渡辺 礼一

小中陽太郎氏を迎えて

長尾 邦弘

「おがわ九条の会」発足一周年の会に、「ベ平連」以来、平和のための息の長い活動を続けておられる作家でジャーナリストの小中陽太郎氏をお迎えしました。

冒頭、聖書のヨナ書やハムラビ法典などを引用し、数千年に及ぶ中東地域の争いと信仰の問題に触れ、これらを正しく読みとるならば自己正当化のために宗教を利用することはありえないことをのべられました。

また多岐わたるお話と映像の中で、4人のアメリカ人脱走兵との出会いのエピソードは非常に印象深いものでした。彼らは「合衆国憲法を遵守するために脱走する」とその会見で言いました。憲法とは、国の暴走に歯止めをかけるものであると共にこのような良心を守るものであることを改めて教えられました。

明るく、気負いのない語り口で「われわれと立場の違う人間は50対50で存在するがそれを何とか55対45で良いから増やしゆく、この会のような努力が大切」とのことばは私たちへの大きな励ましとなりました。



〈お知らせ〉

1 高遠菜穂子さん講演会「命に国境はない」

日時 9月24日(日)午後1時30分～
 会場 坂戸市コミュニティーセンター
 主催 九条の会さかど 憲法九条を考える鶴ヶ島の会

2 九条の会事務局長 小森陽一さん 講演会

日時 10月21日(土)午後1時30分～
 会場 東松山中央公民館
 主催 東松山九条の会

(両講演とも「おがわ町九条の会」も協力しています)